

(社)日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
第5回 風洞実験実施基準分科会(P3SCPh2)議事録

1.日時 2008年10月1日(水) 13:30~17:45

2.場所 電力中央研究所 大手町本部 第4会議室
(大手町ビル7階, 741区)

3.出席者(順不同, 敬称略)

(出席委員) 井手(主査), 柿島(副主査), 沼田(幹事), 安達, 山澤, 舘野, 佐田,
永井^清, 永井^晴, 筑紫, 大場, 込山, 安田(13名)

(欠席委員) 北林, 福田, 鈴木(3名)

(常時参加者) 藤田

4.配布資料

P3SCPh2.5-1 第4回 風洞実験実施基準分科会議事録(案)

P3SCPh2.5-2 「風洞実験実施基準の改定について(中間報告)」

P3SCPh2.5-3 「風洞実験実施基準改定前後比較表」

P3SCPh2.5-参考-1 標準委員会 発電炉専門部会 風洞実験実施基準分科会委員一覧 改4

5.議事録

(1)出席委員の確認

主査により 16 名の委員中、開始時点で 13 名の委員の出席があり、定足数(11 名以上)を満足していることが確認された。

(2)前回議事録の確認

幹事より P3SCPh2.5-1 に基づき第 4 回風洞実験実施基準分科会議事録(案)が説明され、p2 の”前回部会のコメント”を”前回分科会のコメント”に修正し、原案通り了承された。

(3)標準委員会の活動状況

幹事より平成 20 年 9 月 12 日に開催された第 33 回発電炉専門部会の議事内容が報告された。風洞分科会に関連する基盤・応用技術専門部会の委員は調整中である。

(4)標準改定案の中間報告について

幹事より P3SCPh2.5-2 に基づき中間報告表紙案が、込山委員、佐田委員、安田委員、永井清委員、大場委員及び幹事より分担して P3SCPh2.5-2 に基づき改定案が説明された。

中間報告は 11 月頃に予定しており、10/31 まで各委員から改定案に対するコメントを募ることになった。また、今回の分科会でのコメントを含めて集約表に整理して各委員に配布してゆくことになった。

説明後の主な質疑を次に示す。

1)中間報告表紙

- ・ 主要改定箇所”数値シミュレーションの適用性”はおかしいので、”…適用について”に修正する。
- ・ 改定案構成の解説 9 のタイトルは改定案に合わせ修正する。

2)本文、附属書 1

- ・ 定義は前後関係に考慮して関連する項目をまとめる。
- ・ 解説が参照される順序に解説の番号を変更する(解説 6 と解説 7 の番号を変える)。
- ・ タービュレンス・ジェネレータと区切り点を入れた表記にする。トレーサ・ガス等も区切り点を入れるか JIS 等を確認する。
- ・ “トレーサ・ガス”の平均化時間は正確に”トレーサ・ガス濃度の平均化時間”に変える。
- ・ 拡がりのパラメータの説明は、気象指針と整合を取った表現とする。
- ・ 7. は実験結果を用いた評価方法に変える。7.2 実験結果の記録に変更する。
- ・ 図 6.1 は乱流強度も追加する。

3)解説 1

- ・ 図にも参考文献を追記する

4)解説 2

- ・ 2.2 下から 2 行目“…被ばく線量が有意とはならないことから、”を…被ばく線量が評価上は有意な値とはならないことから、”と表現を和らげる。

5)解説 3

- ・ 3.1 上から 6 行目(α)は”平均化した数値”の後に移す。

6)解説 4

- ・ (1)式に y の説明を追加する(本文も同じ)。
- ・ 参考文献 2)に(案)を追加する。
- ・ 付図 1 の注記は付図 2,4 にも入れる。”燃料取扱出入口”は”燃料取扱建屋出入口”に修正する(原図と異なる場合は、その旨注記する)。

7)解説 5

- ・ クロネッカーデルタは後記の式中で使用されていないので削除する。
- ・ 5.4 下から 9 行目を”一方、”の接続詞とするのはおかしいので”具体的な…”のような表現を検討する。

8)解説 6

- ・ 付図 1 に凡例の意味が分る注記を入れる。タイトルの誤字修正する。
- ・ 付図 2,3,4 縦軸の有効高さ He の”He”を削除する(縦軸名を縦書きで揃える)。

9)解説 7

- ・ 7.4 放出速度比(α)の定義を入れる。
- ・ 7.6 トレーサ・ガス濃度の平均化時間に変更する。
- ・ 7.6 上から 3 行目”…風洞気流の乱れによる濃度変動の時間を考慮したトレーサ・ガス濃度の平均化時間に配慮する必要がある。”に変える。
- ・ 参考文献 4) の G.A.Briggs, …の行は()書きする。
- ・ 付図 6 Γ 型の図を実態に近いものにする。

10)解説 8,9

- ・ 解説 8 付図 2 図中の説明書きを見えるようにする。放出高さを放出源高さに変える。
- ・ 解説 9 下から 2 気象拡散解析モデルに直し、解説 10 を参照する。

11)解説 10

- ・ タイトルを安全解析における大気拡散評価時の大気安定度の影響 に変える
- ・ 10.3 下から 7 行目”この一般的な要因としては、”を”ここで示したケースで高さなった要因としては、”に変更する
- ・ 10.3 下から 6 行目パラメータ(σ_y)の後に”の評価時間”に変える。

(7)その他・今後の予定

- ・ 次回は中間報告に対する専門部会コメントの対応検討を行うこととし、開催日は中間報告後に調整することになった。

以上